



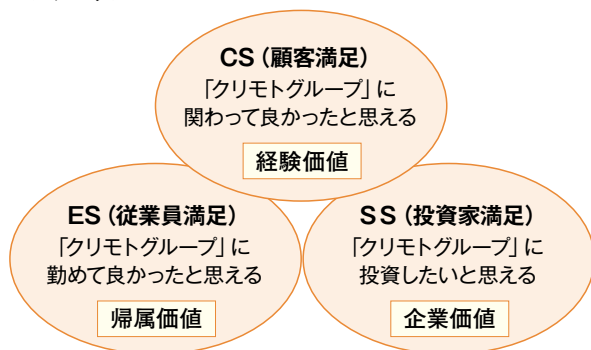
新中期経営基本戦略

経営の基本方針

当社グループは、進むべき事業ドメインを「社会インフラ」と「産業設備」とし、それらの事業ドメインを主として、トータル・クオリティー・サービスで、お客様の信頼を得、お客様満足第一のモノづくりに徹して、引き続き独自の価値と安心を提供します。そして、官需市場において堅実な受注を維持しつつ、民需市場及び海外市場へさらなる受注拡大をはかり、バランスの取れた着実な持続的成長を目指していきます。また、人材育成につとめ、社会貢献活動やコンプライアンス活動を継続的に実践していきます。

ブランド戦略に関する基本方針

次の100年を持続的に成長していくためには、これまで以上にステークホルダーとの絆を深め、クリモトグループの無形資産であるブランド価値の向上をはかっていく必要があります。「顧客満足」「従業員満足」「投資家満足」に値する価値を提供するために、経営トップから従業員に至るまで、ひとりひとりが行動することで、グループ企業価値の最大化につなげます。



人事戦略に関する基本方針

I. 経営戦略に適合する“人”の確保

経営戦略、事業戦略の実現のため、必要なタイミングに、必要とされるスキル・経験を有した人材の積極的な確保に努めます。

II. 組織風土を改革する“人”の活性化

働きがい、やりがいを感じ、能力を最大限に発揮できるための人事諸施策を実践することにより、人と組織の活性化をはかり、「改革・挑戦・創造」を重視した活気に満ち溢れた組織風土の醸成に努めます。

III. 意識改革・行動改革を実践する“人”の育成

個々の自立を促し、自己の成長を介して、組織に貢献できる人材の育成を行います。

技術開発に関する基本方針

研究開発 マネジメントの徹底化

- 情報収集分析力・マーケティング力強化
- 研究開発重点投資分野の決定
- 研究開発成果の定量的評価(費用対効果)
- 新技術・新研究開発テーマの探索とストック

技術投資の組織化・効率化

- 社内外ネットワークの構築および有効利用
- 社内外技術移転・技術組合せ
- 技術開発本部の組織強化
- 技術投資評価(費用対効果)

技術人材開発の推進

- 技術スキルアップ
- 技術プロフェッショナルの確保
- 技術人材教育プログラムの構築・実施

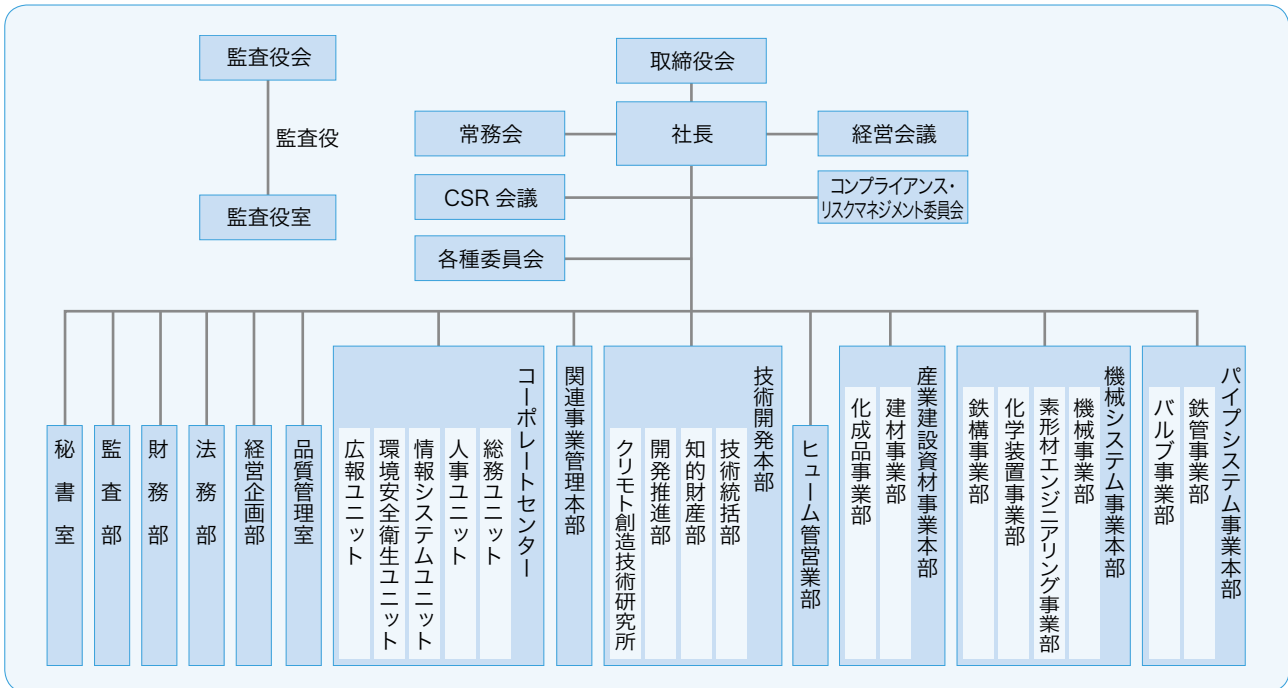
経営資源の充実と有効活用

- 効率的な研究費・研究設備の活用
- 技術人材の流動化
- 外部技術の活用(クロスライセンス他)
- 資金調達力の強化(補助金獲得他)

研究開発成果の継続的創出

【企業理念】

- ① 私達は水と大気と生命(いのち)の惑星、地球を大切に、人間社会のライフラインを守ります。
- ② 私達は「安心」という価値を提供し、社会と顧客の信頼に応えます。
- ③ 私達は顧客の声をよく聴き、顧客から学び、独自の技術を深め、新しい技術を加え、顧客にオリジナルな「最適システム」を提案します。
- ④ 私達はモノづくりを通して、社員の幸せと人間社会の幸せを目指します。
- ⑤ 私達はこれらの実践のため、コンプライアンス経営を徹底し、継承と変革の調和を計り、個性と創意を尊重し、企業の発展と社会への貢献に努めます。



〔行動指針〕

- ① 私達は地球環境にこだわったモノづくりに励みます。環境に配慮した生産活動を心掛け、省資源、省エネルギー、リサイクルに努めます。そして、人間の生活をベースにしたインフラづくりを中心に、人間社会の基礎となる事業領域でお役に立ち続けます。
(ライフラインとは上下水道、ガス、電力、通信、道路、鉄道など人間の生活にかたときも欠かせない生命線です。)
- ② 私達は創業以来100年にわたり、社会に安心を提供し続け、顧客の信頼を得て今日があります。虚業を追わず、誠実な実業に徹し、永年に亘って築き上げられた信用を基本として、更に信頼を深めて頂くため、トータル・クオリティ・サービス (高い価値、高い品質、高いサービスの融合) を実践します。品質、価格、デリバリー、メンテナンス、サービスなど、トータルとしての信頼の最大値を求め、一層の安心を提供出来るよう努めます。
- ③ 私達は顧客と一体となって、現場に立った企業家精神を発揮します。クリモトの持つオリジナルテクノロジーを深化させ、新しいテクノロジーを加え、顧客満足第一のモノづくりをします。単にモノをつくり、販売するのではなく、顧客が認める価値を提供します。私達の独自の技術の提案は、顧客にとっても独自の技術の採用となり、そこに独自の価値が生まれます。
- ④ 企業活動の原点は何なのか、それは人間の幸せの追求であります。私達は人間社会に真にお役に立つモノづくりを貫き、社会に貢献しながら社員の待遇改善と福祉向上を実現します。人間の幸せの追求を経営の基本姿勢として、企業と社会の発展に努めます。
- ⑤ 私達は歴史と伝統の良さを継承しながら、コンプライアンス経営の徹底に努め、時代の変化に対応し、不断の改善と革新を実践し、企業の発展と社会への貢献 (CSR活動) の両立をはかります。